

令和4年度 富山県高等学校総合体育大会バスケットボール競技 戦評

令和4年 6月5日(日)		会場：南砺市福野体育館					
男子 試合No. M2		決勝戦					
勝ちチーム 高岡第一	67	<table border="1"> <tr><td>14-15</td></tr> <tr><td>14-11</td></tr> <tr><td>20-18</td></tr> <tr><td>19-20</td></tr> </table>	14-15	14-11	20-18	19-20	64 負けチーム 高岡工芸
14-15							
14-11							
20-18							
19-20							
戦 評							
<p>1Q、高岡第一ボールでスタート。高岡工芸はマンツーマン、高岡第一は2-3ゾーンディフェンスでの入り。お互い堅いディフェンスで得点を許さない展開。そんな中、工芸7番の3Pや高岡第一13番の3Pで得点が入り始める。その後、高岡第一が積極的なディフェンスから速攻で点を重ねると、高岡工芸も4番の3Pなどで応戦し、14対15で1Qが終了。</p> <p>2Q、高岡工芸7番の3Pや高岡第一8番の3Pが決まりお互い一歩も譲らない展開。高岡工芸6番のバスケットカウントが決まり流れが高岡工芸にきそうになるも、高岡第一がT0。しかし、その後も高岡工芸の速攻やミドルシュートがよく決まる。高岡第一が2度目のT0。その後、高岡第一14番の3Pや8番のフリースローが3本とも決まり流れが高岡第一へ。すかさず、高岡工芸もゾーンディフェンスに変え、速攻やゴール下の合わせからで反撃するものの、2点差で高岡第一がリードして前半が終了。3Q、両校とも積極的にオフェンスでしかけ高岡第一8番のゴール下や高岡工芸7番の3Pやファールでフリースローを獲得するなど接戦は続く。試合が動いたの中盤、高岡第一の3Pやバスケットカウントが立て続けに決まる。食い下がる高岡工芸だが、オフェンスファールをしてしまい、たまたまT0を取り、立て直す。T0後、高岡第一16番にテクニカルファールがとられる。しかしこれで冷静さを取り戻し、スティールからのレイアップや3Pを決め、差をつける。高岡第一が優勢に終わるかと思いきや、高岡工芸4番のドライブからのレイアップやゴール下の合わせで得点をもぎ取る。3Q終了間際に3Pも決まり、高岡工芸が勢いをつけ高岡第一4点差リードで4Qへ。</p> <p>4Q、高岡工芸は勢いそのまま硬いディフェンスから速攻、3Pを積極的に打つ、外れてもリバウンドを取ってゴール下を決めるなど得点を重ね、4番のレイアップを決め、ついに逆転した。ここで高岡第一がT0。流れのままいきたい高岡工芸だが、高岡第一16番の2連続得点が決まり再逆転する。ここで流れを止めたい高岡工芸がT0を取る。しかし、高岡第一16番が3本のフリースロー全部決め流れを渡さない。高岡工芸、ここで終わらず7番のドライブから2点を取り返すなど取られたら取り返す白熱の展開となる。試合時間残り1分を切り、点差は4点の中、高岡工芸4番がスリーショットを獲得。これを3本とも決め、1点差。強烈なディフェンスから高岡第一8番が値千金のレイアップを決め、3点差。その後、高岡工芸も追いつこうと試みるもシュートは外れ、ファールゲームに。高岡第一はボーナスショットをしっかりと決め、結果67対64で高岡第一が勝利し、2年連続3回目の優勝を果たした。</p>							
記録者：立花 龍司		所 属：富山県高体連専門部					
クルーチーフ：竹田 雄介		1st アンパイア：上田 遼馬					
2st アンパイア：柳原 弘彰							